



地域活性化の想いを寄附に

▶ イベントで集まったお金を鞍手乳児院へ寄附

5月21日、22日に直方市を中心に活躍する約20店舗が出店し、直方市の須崎町公園で行われた直方 TSUNAGARI ひろば in 須崎町。2日間で約1,200人が訪れたチャリティーイベントで集まったお金を直方 TSUNAGARI ひろば実行委員会の松本修一実行委員長から鞍手乳児院に寄附いただきました。

松本実行委員長は「地域コミュニティの活性化と子どもたちから大人までが楽しめるチャリティーイベントで、子どもたちを支援することができて嬉しい」と語ってくれました。



躍進する町の兄弟スイマー

▶ 今村陽翔くん、咲翔くんが大会で好成績

東京辰巳国際水泳場で3月27日から30日に行われた第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に今村陽翔くん（剣南小4年）が50mバタフライで出場しました。この大会は、各都道府県の予選を勝ち抜いたジュニア世代のトップスイマーが集う水泳競技最高峰の大会です。

また、5月21日から22日に鹿児島県で開催された第54回西日本年齢別選手権大会に陽翔くんが50m自由形（10歳以下）で出場し入賞、咲翔くん（剣南小3年）が50m背泳ぎ（10歳以下）で出場しました。

現在は、9月に沖縄で開催される第54回九州ジュニア水泳競技大会の出場が決まり毎日2時間の練習に取り組んでいます。躍進する町の兄弟スイマーから目が離せません。



▲【左写真】レース前、笑顔の陽翔くん【右写真】大会の盾を持つ陽翔くん（左）と咲翔くん（右）

鞍手中学校 OB が好成績

▶ 嶋田桃子さん（日本体育大学2年）が5位入賞

6月9日、嶋田桃子さんが第106回日本陸上競技選手権大会の20歳以下5,000mに出場し、16分15秒のタイムで5位に入賞しました。開始2,000mを先頭でレースを引っ張り、中盤も先頭集団に残る走りを見せましたが、残り1周のところで追いつかれませんでした。

嶋田選手は「前半に筋肉を使いすぎてしまった。悔しい結果となりましたが、次頑張ります」と、次の目標である日本学生陸上競技対校選手権大会（インカレ）や全日本大学女子駅伝に向けて気持ちを切り替えていました。



▲レースを先頭で引っ張る嶋田選手（一番右）

工夫とアイデアで生まれ変わる

▶ 鞍手町商工会女性部より古月保育所へイスの寄贈

24個の牛乳パックを使って作った、児童たちでも簡単に持ち運びができ、座っても壊れない頑丈なイス10脚が古月保育所に寄贈されました。

鞍手町商工会女性部長の内田美津子さんは「楽しく使ってくれて、作成して良かった。いつも捨てているものも、工夫やアイデアで生まれ変わるということ、家族で話し合うきっかけにしてほしい」と語ってくれました。SDGsが注目されている今、身近なものにアイデアを加えて再利用してみませんか。このイスを使ってみたいという保育園や介護施設などがありましたら、鞍手町商工会☎（42）0357までご連絡ください。



おいしいパンを求めて約 11,000 人が来場

▶ 鞍手パンフェスティバル開催

6月11日、12日から学園で鞍手パンフェスティバルが開催されました。会場では、全部で35店舗のパン屋さんとキッチンカーが出店し、ステージでは鞍手中学校和太鼓部などがパフォーマンスを行いました。2日間での来場者はなんと11,000人!! 県内外からたくさんの方がおいしいパンを求めて訪れました。

イベントを主催した笹山健吾さんは「子どもたちが喜んでくれていたのが嬉しかった。これからも人と地域をつなげて笑顔を広げていきたい」と話してくれました。人と笑顔が集まる素敵なイベントになりました。



私たちの町をピカピカに

▶ 町内の一斉清掃が行われました

6月12日、春の清掃デー町内一斉清掃が行われました。清掃デーは、町内にポイ捨てされたごみを拾う運動で、町では年に春（6月頃）と秋（10月頃）の2回行われています。

中でも目立ったごみは、ペットボトルやビン・缶やたばこの吸い殻でした。たばこの吸い殻は火事にもなりかねません。ごみのポイ捨ては、法律違反です。絶対にやめましょう。きれいな鞍手町は町民の皆さんのご協力により成り立っています。



3年ぶり7回目の開催

▶ 中央公民館で森崎翠さん、ピアノコンサート

6月12日、くらのての明日を紡ぐ会が主催する鞍手町在住、森崎翠さんのピアノコンサートが行われました。会場には100人近くの観客が3年ぶりの森崎さんの演奏を聴きに訪れました。森崎さんも今回の演奏会を楽しみにしており、観客の励みになる演奏をしたいと語っていました。

クラシックから映画の曲まで、耳なじみのある音楽が森崎さんならではの表現により奏でられ、来場者からアンコールが起こるなど、温かな雰囲気のコサートとなりました。



五感を使って、わくわくの体験学習

▶ わくわく学び体験隊の主催でじゃがいもの収穫体験

6月18日、FARMERS Village 代表 又川哲也さんの協力でじゃがいもの収穫体験学習が行われ、町内外から13人が参加しました。この体験学習は、子どもたちが五感（見る・聴く・味わう・嗅ぐ・触る）を使った体験をすることを目的としています。今回収穫したのは今年の2月の体験学習で植付をしたじゃがいもです。

参加していた直方市在住の丈晴（3歳）くんは「おいもが土の中にあるのを知らなかった」と笑顔で話をしてくれました。参加した子どもたちは、じゃがいもの収穫を通して、大切なことを感じたことでしょう。



すくすく日記

7月生まれ

Happy birthday to you.



お お た あ ら た
大田 新ちゃん
令和2年7月17日生まれ

あーちゃん♡2歳おめでとう☆
最近言葉が少しずつ出てきてお手伝いなんかもできるようになってきて、日々の成長に感謝です!! (父 芳正さん、母 由香さん・八尋)

お待ちしています

広報「すくすく日記」のコーナーでは、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。8月生まれは、7月11日（月）までに役場政策推進課政策係窓口または下記の方法で申し込んでください。

インターネット申込ができます

「鞍手 すくすく日記 申請」のキーワードでWeb検索すると見つかる『ふくおか電子申請サービス』のページから申込ができます。申込完了後、30分以上経過しても到達通知メールが届かない場合はお問い合わせください。

●申込ページ <https://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/uketsuke/dform.do?acs=sukusukunikki>

●申込み・問い合わせ 役場政策推進課政策係
☎(42)2111 (内線384) まで

